

「衛生講習会」を開催しました

11月2日にホテル白萩において「衛生講習会」を開催いたしました。

昨年度に引き続き、ウイルス感染症の専門家である国立病院機構仙台医療センターの西村秀一先生から、「生衛業者のための新型コロナウイルス対策2021」のテーマで、現状や感染対策のポイントなどをスライドをもとに分かり易く解説していただきました。

当日は、生衛業者の方など約50人の参加で、皆さん熱心に聴講し、終了後のアンケートでも、「大分間違った覚え方をしていたのもありました。こんなに楽にできればもっと毎日が楽しく過ごせると思います。ありがとうございました。これからもう少し楽に考えて仕事をしたいと思います」など、全員が参考になったとの感想がありました。

西村先生の講習は、研究成果に基づく見解とのことですが、生衛業にとって大変参考となる内容でしたので、その概要をお知らせします。

<現状について>

- 新型コロナウイルスは、エアロゾル・空気感染が顕在化しています。ワクチンと治療薬により重症化は抑えることができます。
- ただし、高齢者の重症化率は依然として高い状況です。従って高齢者に感染を広げないことが重要です。
- コロナ疲れにより私達は様々なダメージを受けています。肉体的・経済的・絆・精神的ダメージなどです。

<私の不機嫌>

- 私達は「専門家」や「マスコミ」などから沢山のことにだまされています。
- 目からの感染や便を介しての感染、手すり・つり革・スイッチを介しての接触感染などは「可能性がある」となっているが証明されていません。
- エアロゾル・空気感染に対して、アクリル板やフェイスシールド、アルコール消毒などはほとんど意味がありません。

<対策>

- 自分→客、客→自分、客→客において誰と誰との間の感染から守るのか。一つ一つ具体的に自分の頭で考えましょう。
- 本当に必要な情報に基づき、古い知識は捨て正しい理屈とそれに沿った実践を行うことが重要です。変えるべきものは変えていきましょう。
- ガイドラインに載っているからという、形だけの対策は捨て去るべきです。
- エアロゾル・空気感染対策が肝心です。従って換気と隙間の無いマスクの着用がポイントになります。この際、自分達のガイドラインを作ってみてはどうかと考えています。

西村先生の講習を踏まえて、それぞれの店舗等で適切な対策を行っていただくようお願いいたします。

なお、先生からいただいた講習の資料（スライド抜粋版）を当センターホームページに掲載しておりますので、当日受講できなかった方も是非ご覧いただき対策にお役立てください。

